


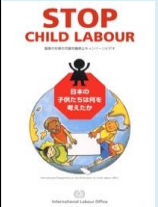







人権啓発ビデオ一覧表 【 子どもの人権 】


No	タイトル	時間(分)	企画/製作会社	本数	製作年
7	小さな叫び	30	和歌山県人権啓発センター / 読売映像	4	2004年
	 小さな叫び 児童虐待を主軸に、ジェンダー、親子関係、高齢者など、さまざまな問題をテーマにしたドラマ。言葉の暴力も児童虐待における深刻な問題です。ドラマを通じて、「しつけ」と「虐待」の違い、児童虐待を発見した場合はどう対処すればよいのか、「他人の事に口出しする」と「他人の事に気を配る」ことの違い等について考えます。				
17	しらんぷり (アニメ)	21	東映株式会社 / 東映株式会社	1	1999年
	 しらんぷり イジメと正面から取り組む梅田俊作・佳子の原作絵本のアニメ化。イジメを目撃した少年アキラの心の葛藤を丁寧にリアルに描き出す。イジメを見ても、見て見ぬふりをしてきたアキラの心の叫びが爆発するラストシーンは胸を打つ。子どもも大人も、一緒になって考えてほしい。				
21	新しい風	30	兵庫県 ほか/東映株式会社	2	2003年
	 新しい風 豊かなところをもって幸せな人生を送るには、家族がお互いの人格を尊重し合い、協力して明るく生き生きとした家庭を築いていくことが大切。しかし、今日、配偶者からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）や、親から子への虐待が大きな社会問題となっている。その中で、ある一家の日常生活を通して、家庭における一人ひとりの人権の大切さを描いている。				
29	「STOP CHILD LABOUR 日本の子どもたちは何を考えたか」	32	国際労働事務局 / 日本ビデオニュース株式会社	1	1999年
	 STOP CHILD LABOUR 日本の子どもたちは何を考えたか 「I am a child! / 働かされる子どもたち」日本語版に続く、児童労働問題に関するビデオ第2弾!日本のいくつかの学校では、「I am a child! / 働かされる子どもたち」を使って授業が行われていた。豊かな国、日本に暮らす子どもたちは、同年代で働かされる世界の子どもたちの問題をどう捉え、何を考えたか。教員をはじめとする多くの方々から寄せられた反響にこたえるべく、学校の現場に取材したレポートである。				

60	いちばん近くに (アニメ)	22	大阪府 / KMJ研究センター	1	1995年
	<p>このビデオは、大阪を舞台に社会的、制度的差別と様々な偏見のなかで、みずから民族的アイデンティティを大切にしながら生きる在日韓国・朝鮮人と日本人との出会いをテーマに制作された。とりわけ小中学生の子どもたちが、異なる文化や習慣を尊重し、共生する社会をつくることの大切さに気づいてくれることを目的とした作品。</p>				
61	新ちゃんがないた! (アニメ)	36	北九州市ほか / 東映株式会社	1	1989年
	<p>四肢性マヒのための全寮制の養護学園で学んでいた新ちゃんは、先生や先輩の励まし、本人の努力が実って普通小学校に転入することができた。だが彼の行く先には様々な障害が横たわっていた……。新ちゃんの不屈のがんばりと幼なじみの友情が感動を呼ぶ。心あたたまるアニメーション。</p>				
79	飛べない翼	30		1	1988年
	<p>いま、「子どもの人権」にかかわる問題として、いじめや自殺、体罰・登校拒否などが様々な形をとって多発しています。これらは、大人が子どもの考え、子どものためにする過重な言動が、結果的に子どもを傷つけている場合が多いと言われます。こうした現状に焦点を当て、子どもを未完成な人間と考えるのではなく、一人の人間として尊重することの大切さを訴え、「子どもの人権」を描いたものです。</p>				
80	友だちの心の痛み	25	東映株式会社	1	1992年
	<p>クラスからいじめをなくすには、みんながいじめられている友達の心の痛みを分かることが不可欠だ。クラスの多数派と目される無関心層。いじめをめぐる学級会の討論を通じて、傍観者の一人芳子がいじめられる子の心の痛みが分かり、ただす子に成長するまでを描きます。</p>				
92	プレゼント (アニメ)	17	(財)人権教育啓発推進センター/毎日映画社	1	2003年
	<p>誕生日の出来事をきっかけに同級生からいじめを受けるようになった主人公綾香。ただ一人、クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばったが、ある出来事をきっかけに綾香は学校を休んでしまった……。いじめは、深刻な人権問題であり、多くの子どもが悩んでいる。それを解決する過程を描き、思いやりの大切さを考えさせる作品。小学校3・4年生対象につくられた。</p>				

	ひきこもり脱出マニュアル「こうすれば子どもと対話できる」	60	P.E..Education	1	2003年
93		高校生で不登校に陥り、その後、5年間ひきこもり状態に陥った青年の事例をドラマ仕立てで再現。再現ドラマの展開に応じて、家族や周囲がどのように対応すべきかを斎藤環医学博士が分かり易く、かつ実践的に解説。			
	ひきこもり脱出マニュアル「不登校とひきこもり」	60	P.E..Education	1	2004年
94		両親、大学生の長女、中学生の長男からなる4人家族の飯島家。ある日、長男の徹が突然、学校に通うのを嫌がりだした。担任やカウンセリングの先生が家庭訪問を通じて話相手となり、やがて徹も心を少しずつ開き始め保健室登校をするようになる・・・			
	小中学生のための防犯教育「身近にある危険」	21	P.E..Education	1	2004年
95		通学路や自宅近くなど、これまで安全と思われていた場所での連れ去り事件が頻発。また、携帯電話の普及で出会いサイトを利用する児童・生徒の犯罪被害も増加している。本ビデオは、こうした犯罪に生徒・児童がどのように対処すべきかを再現ドラマを交え、マニュアル的に解説			
	人権を考える！女性と子どもと母親	30	共和教育映画社	1	1998年
99		この作品は、キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら、日々の生活の中から誤った知識や偏見の有ることに気づき、同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、人権問題を学び、差別解消に向かって行動していく人権学習の教材である。			
	気づいたときが変わるとき		東映株式会社	1	1993年
101		子育てに真剣になればなるほど陥りやすい、過保護と過干渉。子育ては試行錯誤の繰り返しです。親は自らの誤りに気づいたとき、改める努力をすべきです。親ならそれが出来ます。子どもは親のそうした努力や真摯な姿にこそ、愛情や信頼を感じとります。子育てに決して手遅れはないのです。気づいたときが変わる時。そのことを、ある主婦の子育ての日々を通して考えます。			

104	 <p>夢の箱</p>	50	法務省人権擁護局/読売映像	1	2000年
105	 <p>風と大地と梨の木と (第4章) <最終章></p>	51	鳥取県/オフィス・ヒューマンヒル	1	2002年
106	 <p>虐待から子どもを守るために</p>	53	法務省人権擁護局/NTV映像センター	1	2001年
107	 <p>内藤剛志の中学生トークライブ</p>	30	法務省人権擁護局/岩波映像株式会社	1	2003年
111	 <p>あ！危ない きみならどうする</p>	27	共和教育映画社	1	2007年

112	えっ！これも人権？		30	共和教育映画社	1	2007年
		この作品は日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コマ・マンガと実写でわかりやすく構成されています。 「人権＝〇〇」。あなたなら人権という言葉はどう置き換えますか。誰にとっても大切な人権、それは「愛」でもあり、「やさしさ」でもあります。				
115	こころに咲く花		35	(財)兵庫県人権啓発協会/東映	1	2007年
		今、学校や地域でのいじめ、職場でのパワハラ、セクハラが人権侵害として大きな社会問題になっています。 このドラマでは、いじめの構造の中で多数を占める傍観者、観衆たちが一歩を踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかけます。				
117	声を聞かせて		40	北九州市/東映株式会社	1	2008年
		携帯電話は、もはや単なる“電話機”ではなく、メールやインターネットなど、様々な機能を持つようになり、大人も含めて「ケータイがないと不安」なケータイ依存までもつくり出しています。このケータイを子どもが持つということは、どういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実に向き合っていけばいいのか、一緒に考えてみませんか。このDVDでは、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残る「同和問題」についても取り上げています。				
118	ありったけの勇氣		27	東映株式会社	1	2007年
		子どもたちは「いじめは良くない・悪いことだ」と心の中では思っている、「自分がいじめられるのでは？」という不安から、いじめる側に回ったり、見て見ないふりをしてしまうのではないのでしょうか。このドラマでは、友達との関わりや相手の気持ちを考えることの大切さ、いじめをなくすためにお互い認め合い、本音で話せる関係づくりなど、いじめに立ち向かう勇氣の大切さを伝えます。				
122	桃色のクレヨン	VHS	28	法務省人権擁護局/人権教育啓発推進センター	1	2006年
		人権意識とは、分かりやすい言葉で言うと「かけがえのない命」の大切さを感じることであり、「思いやりの心」を大事にすることだと言えます。このような大切なことに気付いていく主人公の姿をテーマにしている心が温まる作品です。				

129	 <p>悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル</p>	DVD	33	株式会社 映学社	1	2014年
<p>この作品は、いじめの防止対策推進方が成立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストの中で、法務大臣政務官賞を受賞した「いじめのスパイラル」をドラマで映像化したものです。この作品を多くの子どもたちが鑑賞することで、いじめられたときは一人で悩まず、いかに勇気を出して周囲の大人に悩みを告白し、解決の道を探ってもらうことが大切であるかを伝えます。また、教師ら周りの大人には、いじめのSOSをいかに早く正確につかみ、的確に対処することが大切であるかを訴えています。</p>						